高川打線爆発、悲願のV

初優勝を決め、笑顔で応援団へのあいさつに向かう高川学園の選手＝西京スタジアム

最後の最後に勝利の女神

長年積み重なった甲子園への思いが、最後の最後に勝利の女神を振り向かせた。7度目となる夏の決勝戦を初めて制し、悲願の優勝を果たした高川学園。多々良学園時代から続く創部114年の伝統に、新たな歴史を打ち立てた。

昨秋はベスト8、今春は2回戦敗退といずれも県大会で姿を消し、今大会はノーシード。「台風の目になる」（相田主将）。準決勝までの5試合で盗塁や犠打を絡め46得点と、圧倒的な攻撃力で勝ち上がってきた。

この日も先制直後の四回に逆転を許したが、選手は冷静で強気だった。「絶対に1点を取って、九回を締めよう」（藤村監督）。同点に追いつき迎えた八回。先頭の相田、続く石丸が出塁し、6番山野が右翼への2点三塁打を放ち〝らしさ〟を見せると、一気に流れをつかんだ。5長短打と4四球を絡め6得点の猛攻で優勝を手繰り寄せた。

これまで7度、決勝に進んだが、勝ちきれなかった。それでも、甲子園を思い続けられたのは、前監督の中野部長の「毎回念ずれば花開く」という言葉があったから。練習終わりのグラウンドで校歌を歌い、「甲子園」「日本一」と叫ぶのが習慣になった。実際にナインが甲子園に足を運び選抜大会も見に行った。4番に座る石丸は「鳥肌が立った。ここでプレーしたい」と大舞台への思いは強くなった。

この日夢が現実となり、ナインの目標は変わった。相田主将は「甲子園でもやることは同じ。泥臭く走り回りたい」と視線を上げた。台風の目となった高川学園。次は聖地で旋風を巻き起こす。（岩崎）

藤村監督に感謝

⚾…「藤村先生を胴上げしよう」。昨年12月から指揮を執ってきた藤村監督が今季限りで退任することを高川ナインは知っていた。「1試合でも長く監督を続けてほしい」（相田主将）。監督への思いが有力校を次々と破る原動力にもなった。

4月の県大会終了後に退任が決まり、選手には5月に伝えた。今大会の躍進に指揮官は「1試合ごとに成長した」と目を細める。

試合後、選手たちから呼ばれ、笑顔で歓喜の輪に加わった。ウイニングボールを手に胴上げされ、「生徒が強い思いでやってくれた」。1番打者を務めた大江は「今度は日本一の男にします」。ナインと指揮官の思いは一つだ。

藤村竜二監督を胴上げして喜びを爆発させる高川学園の選手たち＝西京スタジアム

朝田走、兄の雪辱果たす

8回、好走塁を見せた高川学園の朝田走＝西京スタジアム

3年前、高川学園の4番としてチームをけん引し、その夏の決勝戦で惜敗した兄。雪辱を果たしたのは、弟の朝田走だった。「絶対に夏の大会に借りを返してくる」。試合前、朝田走は兄の光さんに声を掛けた。

昨年の県大会準々決勝で朝田走は送球ミスをしてしまい、チームは敗退。相手はくしくも宇部鴻城だった。それ以来、「一球一球を大切にする」ことを心掛けて練習に取り組んできた。

「この1年間で精神的に強くなり、集中力がついた」。その手応え通り、下位打線ながら大会を通じて打率5割に迫る活躍を見せた。決勝でも八回にダメ押しとなる適時打を放ち、暴投の間に一塁から一気に三塁を陥れる好走塁を見せた。光さんは「弟が今までひたむきに練習に取り組んでいたことを知っている。絶対に活躍すると思っていた」と目を細めた。

朝田走は「約束通り兄の借りは返すことができた。一日でも長く夏を戦って藤村監督を日本一にしたい」とまだ見ぬ甲子園を前に闘志を燃やしている。（植野）

高川学園選手コメント

①**山野太一**「持っている力を出し切るため、思いっきり腕を振って投げた。甲子園でも全力を出してチームの日本一に貢献したい」

②**山崎悠大**「決勝大会は苦しい試合が多かったけど、勝ち抜けてうれしい。全国の舞台では挑戦者としての気持ちを前面に出して戦いたい」

③**森大祐**「緊張もあったけど、決勝の舞台に立てる喜びを感じながらプレーした。監督を甲子園に連れて行くことができてうれしい」

④**石丸隆哉**「どんな形でも勝てるよう、みんなでカバーし合って、応援してくれている人たちに恩返しをしたい。甲子園で校歌を歌う」

⑤**朝田走**「『誰かのために』ということをチームの目標にしてきた。応援してくれた全ての人たちのために勝つことができてよかった」

⑥**市成啓悟**「メンバーを外れた選手も含め3年生中心のチーム力で勝つことができた。甲子園は緊張すると思うけど、思い切ってプレーしたい」

⑦**清水裕達**「甲子園出場を決めることができてうれしい。昨秋はベンチ外で、辛い時期もあった。日本一を目指しチーム一丸で戦っていきたい」

⑧**大江駿介**「藤村監督を男にできたという思い。1番打者なので塁に出て、甲子園でも変わらず自分たちの野球をし『日本一の男』にしたい」

⑨**相田聖人**「昨夏は固くなってしまったが、ことしは楽しかった。（大阪出身で）甲子園には友だちや両親も来る。プレーで恩返ししたい」

⑩**美舟宏城**「甲子園出場は野球を始めた頃からの夢だった。メンバーに入れなかった部員の分まで、大声を出してチームを活気付けていきたい」

⑪**椋木蓮**「春の大会で先発投手として負け、悔しい思いをした。甲子園では主戦山野の負担を少しでも減らせるよう準備していきたい」

⑫**安藤壮**「日頃から支えてくれた人たちに対する感謝の思いがあふれてきた。山口県の代表として堂々と戦って、恩返ししていきたい」

⑬**末冨裕太郎**「三塁コーチャーとしてチームを支え、持ち味の走力を生かし、代走として出場した。甲子園に行ってもチームのために頑張りたい」

⑭**吉村聖人**「仲間が『お前ならできる』と励ましてくれて楽な気持ちでプレーできた。これからも日本一を目指して一戦ずつ全力で戦いたい」

⑮**得重優也**「藤村監督を胴上げする夢を実現できて最高。甲子園では自分が中心になって盛り上げ、チームを一丸にしたい」

⑯**岸本大生**「負けが続いた悔しさを力にすることができた。甲子園では、足りない部分を補えるように常に周りを見て動くことを心掛ける」

⑰**細谷芳樹**「日本一を目標に頑張ってきたので、優勝はうれしいが気を引き締めたい。甲子園でも変わらずチームを盛り上げていく」

⑱**岩田滉平**「気持ちで勝っている自覚があったので、負ける気がしなかった。ムードメーカーとして、甲子園でも皆に笑顔を届け続けたい」

全国各地代表

【徳島】

▽決勝（28日・鳴門オロナミンC）

鳴門	100000100	2
鳴門渦潮	000001000	1

（鳴門は5年連続11度目の出場）

【宮城】

▽決勝（28日・コボスタ宮城）

東北	000220100	5
利府	000000000	0

（東北は7年ぶり22度目の出場）

【富山】

▽決勝（28日・富山市民）

富山商	000000000	0
富山第一	10105001×	8

（富山第一は3年ぶり2度目の出場）

【東東京】

▽決勝（28日・神宮）

東亜学園	0001001001	3
関東第一	1010000002×	4

（延長十回）

（関東第一は2年連続7度目の出場）

【三重】

▽決勝（28日・四日市霞ケ浦）

津田学園	100010110	4
いなべ総合学園	01500400×	10

（いなべ総合学園は6年ぶり2度目の出場）

【愛媛】

▽決勝（28日・松山中央公園）

松山聖陵	030000000	3
新田	100001000	2

（松山聖陵は初出場）

【兵庫】

▽決勝（28日・明石トーカロ）

市尼崎	001000110	3
明石商	001100000	2

（市尼崎は33年ぶり2度目の出場）

【奈良】

▽決勝（28日・佐藤薬品スタジアム）

天理	001001003	5
智弁学園	00030030×	6

（智弁学園は2年ぶり18度目の出場）

【和歌山】

▽決勝（28日・和歌山市紀三井寺）

箕島	000000000	0
市和歌山	00000002×	2

（市和歌山は2年ぶり5度目の出場）

【岐阜】

▽決勝（28日・岐阜長良川）

大垣日大	100000001	2
中京	00201000×	3

（中京は14年ぶり6度目の出場）

【群馬】

▽決勝（28日・上毛新聞敷島）

前橋育英	001200010 004	8
高崎健康福祉大高崎	001000021 000	4

（延長十二回）

（前橋育英は3年ぶり2度目の出場）